

『東関東自動車道水戸線（潮来鉾田間）環境整備検討委員会
第3回生物分科会（猛禽類）』の開催結果をお知らせします。

東関東自動車道水戸線（潮来鉾田間）事業は、環境保全に配慮しつつ、平成27年から工事に着手しております。沿線では、環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）に掲載されているオオタカ、サンバ等の猛禽類の生息が確認されています。

猛禽類の環境保全措置については専門性及び緊急性が高いため、当事務所では平成29年に『東関東自動車道水戸線（潮来鉾田間）環境整備検討委員会 生物分科会（猛禽類）』を設立し、専門家の指導・助言をいただきながら事業を進めているところです。

この度、令和元年12月3日に「第3回生物分科会（猛禽類）」を開催いたしましたので、その結果をご報告いたします。

開催日時：令和元年12月3日（火）

開催場所：国土交通省関東地方整備局常総国道事務所会議室

議事内容：（1）第2回生物分科会の主な意見と対応方針
（2）東関道事業の概要等
（3）令和元年モニタリング結果
（4）令和2年繁殖期の工事状況を踏まえた保全対策
（5）令和2年度調査計画

主な意見：

- R1年度の調査の結果、例年と同程度の猛禽類の繁殖が確認された。
- R2年度の保全対策、調査計画については了承する。
- 営巣木でのカメラモニタリングやGPS追跡調査により取得したデータは、今後の事業推進や猛禽類保全の観点で重要である。

問い合わせ先		
国土交通省	関東地方整備局	常総国道事務所
	副 所 長	<small>もり ひろき</small> 森 浩樹
	調査課長	<small>とみさわ なるみ</small> 富澤 成実
TEL	029-826-2040	

【参考】

◆『東関東自動車道水戸線（潮来鉾田間）環境整備検討委員会 生物分科会（猛禽類）』について

【委員】（50音順）

あべ 阿部	まなぶ 學	日本猛禽類研究機構理事長（委員長）
いしい 石井	しょうぞう 省三	茨城県環境アドバイザー 日本野鳥の会茨城県 会長
こうまる 幸丸	まさあき 政明	一般財団法人自然環境研究センター 評議員 岩手県立大学 名誉教授 東京環境工科専門学校 参与

【オブザーバー】

茨城県 県民生活環境部 自然環境課 課長補佐
茨城県 土木部 道路建設課 高速道路対策室 室長補佐

【事務局】

国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所
東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸工事事務所

【これまでの開催概要】

第1回 平成29年12月18日

議題：生物分科会の設立、H29 調査結果報告、H30 保全対策、H30 調査計画

主な意見：
・ H30 保全対策、調査計画については了承する
・ 事業実施により猛禽類に対してマイナスとなる分、今後の保全対策に役に立つデータを入手するといった対応が必要であると考えられる

第2回 平成30年12月12日

議題：H30 調査結果報告、H31 保全対策、H31 調査計画

主な意見：
・ H31 保全対策、調査計画については了承する
・ モニタリング結果から工事がオオタカ等の繁殖に及ぼした影響が小さいと考えられる。

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）の概要・経緯

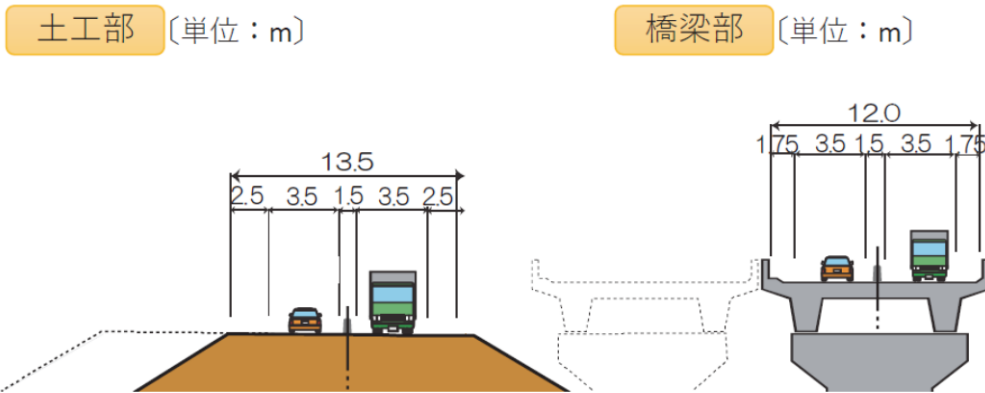
■東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）の概要

- 東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）は、常磐自動車道三郷 JCT を起点とし、北関東自動車道茨城町 JCT までの延長 143km の高速自動車国道のうち、茨城県潮来市を起点に茨城県鉾田市に至る延長 30.9km の道路です。
- また、東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）は、高速ネットワークを形成し、国際バルク戦略港湾である鹿島港や成田国際空港、茨城空港へのアクセス向上を図るとともに、災害時の代替路線（リダンダンシー）を確保し、北関東地域と東関東地域の連携交流に寄与するものです。

■計画概要

項目	内容
区間	自) 茨城県潮来市 <small>いたこしのぶかた</small> 至) 茨城県鉾田市 <small>ほこたしいいな</small> 飯名
延長	30.9km
幅員	土工部：暫定 13.5m (完成 20.5m) 橋梁部：暫定 12.0m (完成 20.5m)
規格	高速自動車国道（第1種第3級）
設計速度	80km/h
車線数	暫定 2車線（完成 4車線）

■標準断面図



■事業経緯

年月	内容
平成9年2月	基本計画決定
平成20年10月	都市計画決定および環境影響評価書 公告・縦覧
平成21年5月	整備計画決定
平成21年度	事業化 測量着手、用地着手
平成22年度	地質・環境調査、道路設計に着手
平成27年度～	工事着手
平成29年 3月31日	有料道路事業許可

東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）の路線図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28情標 第1259号)